

This is a newsletter from Shinshu University International Center (SUIC)
In case this email newsletter is unreadable, please try the online version
http://suic.shinshu-u.ac.jp/obog/newsletter/suicnewsletter_vol12.pdf

Vol. 12 — 2007. 10. 29 —

■ □ 信州大学国際交流センター ニュースレター □ ■

Shinshu University International Center (SUIC) Newsletter

■ 発行：信州大学国際交流センター(SUIC)
<http://suic.shinshu-u.ac.jp>

▼△ 今号のもくじ △▼

- ・ ごあいさつ
 - ・ 最近の出来事
 - ・ スタッフ近況報告 (中村 純子 先生)
 - ・ 信大NOW47号
 - ・ 信州生活ちょっとコラム (社会編)
-

■ □

□ ごあいさつ

秋の陽光が気持ちよいこの頃ですが、皆さんいかがお過ごしですか？！

今回より編集を担当させていただくことになりました中原ナンシーです。
国際交流課のスタッフとしてまだ一ヶ月ですがこれから頑張って
信大のニュースをお届けしたいと思います。どうぞ宜しくお願いいたします。

■ □

□ 最近の出来事

▼ 2007年度後期の留学生

今期もあらたに中国、韓国、アメリカ、ベルギー、ロシア、ベナン、
リトアニア、オランダ、などと様々な国から留学生がやってきました。
一日も早く信大での新しい生活になれてほしいですね！

▼ 10月からスタート！「信州大学交換留学生プログラム」

信州大学では交換留学生の受入と指導をより組織的に行うため2007年
10月から「信州大学交換留学生プログラム」を開始しました。
プログラムの参加資格は信州大学の大学間協定校の学生で、信州大学に
6ヶ月以上1年以内、特別聴講学生として在学する方になります。
今期は韓国、中国、アメリカ、ベルギー、オランダから計14名の留学生
を受け入れました。

<http://suic.shinshu-u.ac.jp/prospective/exchange/exchange.html>

▼ 防災訓練が松本国際交流会館で行われました。

10月23日16：00から、松本国際交流会館玄関前にて防災訓練を実施しました。
留学生24名、地域住民の方9名に信大関係者など全部で45名が参加しました。
訓練では、避難訓練、通報訓練、消火訓練、放水訓練など実際に火災が起き
た時と同様の対応を実施体験しながら確認しました。
最後に、野村国際交流センター長から地震の際の対応についても話があり、
留学生たちは真剣に耳を傾けていました。

【写真】<http://www.shinshu-u.ac.jp/news/htm/01002.htm>

★

スタッフ近況報告 ～ 中村 純子先生 (国際交流センター非常勤講師)

★

卒業生の皆さん、お元気ですか。私も何とか元気にやっています。
最近ちょっとした楽しみができました。俳句を始めたのです。俳句は世界で

一番短い詩とされています。5音、7音、5音の合計17音で、一つの世界をつくりまします。必ず季語を入れます。季語とは季節を表す言葉です。例えば、桜は春、紅葉は秋を表します。植物だけでなく、動物、生活の言葉なども季語となります。

古池や蛙飛び込む水の音（ふるいけや かわずとびこむ みずのおと）松尾芭蕉
これは有名な俳人〔俳句をつくる人〕、松尾芭蕉〔江戸時代・17世紀〕の有名な句ですが、この場合、季語は蛙で、春を表します。

さて、日本では俳句をつくる人は大勢いて、各地に句会があります。句会では俳句を作ってお互いの俳句を鑑賞しあいます。私の参加しているグループの句会は月に一回です。そのとき、兼題（けんだい）を入れた俳句を2句作って、お互いに鑑賞し合います。兼題とは、前もって決まっている俳句の中に入れなければならない言葉です。毎回違います。

9月の句会では「濃」という題が出されました。10月の句会までに、この言葉を入れた俳句を2句つくらなければなりません。一ヶ月間、この言葉がどんなものと結びつのか一生懸命考えました。濃い味、濃い色、濃い眉、濃い血、濃い霧などなど。これを英語にすると、結構違う言葉を使って表現します。濃い味はstrong、濃い色はdeep、濃い眉はthickを使うというように。こんなことを考えていて、日本語の和語の意味の広さを実感しました。と同時に、留学生の皆さんが、外国語を習うときの苦勞を感じました。言葉そのものを覚えることも大変ですが、もっと難しいのはどの言葉が、どの言葉に結びつかかということを感じることですよね。その結びつき方が母国語と違っていると、なおさら難しいですよね。

俳句を習って、兼題をもらって、その言葉について色々考える、他の人の兼題のとらえ方を鑑賞する・・・俳句を作ることにより、発見がたくさんあります。皆さんも俳句、作ってみませんか？

空の青集めて深し濃りんどう（りんどうは花の名。濃い青色をしている）中村純子

■□

□ 信大NOW47号のご案内

「信大NOW」は、信州大学のニュース、歴史や人にまつわる記事、イベントや公開講座の紹介や研究者の研究内容など「信州大学が良くわかる」広報誌です。

信州大学の公式Webサイト上でも公開されています。
(47号) <http://www.shinshu-u.ac.jp/html/now/>

★ 「信大NOW47号」ダイジェスト

■特集：松本キャンパスを尋ねる。
構内に建っている赤レンガの建物の正体・・・
小松芳郎さん「松本市文書館 館長」にインタビュー、そして入隊後
松本連隊で4ヶ月間過ごしたと言う遠山栄一さんにお話を聞いてみました。
<http://www.shinshu-u.ac.jp/html/now/now47/47-2-6p.pdf>

■Try!
山の仕事に就く人
<http://www.shinshu-u.ac.jp/html/now/now47/47-7p.pdf>

■Let's Go! 公開講座
シニアサマーカレッジ in 信州大学
信州のそばを解き明かす（講師：井上真人 農学部教授）
<http://www.shinshu-u.ac.jp/html/now/now47/47-8-9p.pdf>

■Special Report 1: 長野県北部の新潟県中越沖地震
なぜ、飯綱町は強く揺れたのか？
<http://www.shinshu-u.ac.jp/html/now/now47/47-10-11p.pdf>

■Special Report 2: Summer school 信州夏の学校「私もサイエンティスト」
サイエンス・ラボ in 上高地
<http://www.shinshu-u.ac.jp/html/now/now47/47-12-13p.pdf>

■Information & Communication
行事・公開講座の案内と報告
<http://www.shinshu-u.ac.jp/html/now/now47/47-14-15p.pdf>

■（新）健康談話：虫刺され—こんな時には注意が必要！
<http://www.shinshu-u.ac.jp/html/now/now47/47-16p.pdf>

